

令和元年度 第1回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：令和元年5月28日（火）午後4時00分～5時00分

場 所：飯山市ふるさと館 学習室

出席者：千坂経悦、望月 武、清水基良、村松直昭、清水重男委員
長瀬教育長、常田文化振興部長、事務局4名

進 行：佐藤市民学習支援課長

1 開 会

（課 長）令和元年度、第1回運営協議会を開会します。

2 委嘱状交付

教育長より、清水基良氏、村松直昭氏、2名に委嘱状の交付。
任期は、前任者の残任期間、令和2年3月31日まで。

3 あいさつ

（会 長）二人の新しい委員さんよろしくお願ひします。ふるさと館事業もたくさんやっていますが、近年、気になっているのは空き家が増えていることです。これからも増えていくと思います。条例では取り壊すことになっていますが、古民家を取り壊されると、再生することが出来ません。古民家一つなくなると、小さな博物館一つなくなることだと思います。行政の力で何とか古民家利用ができないだろうかと思っています。よそから来た方、観光などに、大きく言えばふるさと館の視野の中に入れてほしいと思う。

4 自己紹介

委員より順次自己紹介

5 協議（進行：会長）

① 平成30年度事業報告について

（事務局）資料に基づき説明

（会 長）質問等ありますか。

（会 長）受入資料とか図書とかどうなっているのか。

（事務局）民具等保存年数について、指定していないが、保管場所がなくなってきた。だいぶ傷みが進んでいるものもあるので学芸員に相談しながら決めたい。他市から送付される発掘調査報告書の保管場所もなくなってきた。近年の報告書は、データ化され、ホームページで公開されているので、こちらもデータ化されている古い報告書は処分等検討したい。

（事務局）報告者は、全国遺跡総覧にデータ化されているので、飯山市との関連度合見

ながら検討していきたい。発掘したものは処分できないので、極力保存、活用の方向という流れになっています。土器など埋文センター、五郷分校に残っていて、どうするか。全国的に課題であり、問題になっている。

② 令和元年度事業計画について

(事務局) 資料に基づき説明

(会 長) 質問等ありますか。

(委 員) 一般家庭にある古文書を市で預かってくれということはありませんか。

(事務局) 最近はありません。昨年度、藤ノ木区で保管している古文書を見てくれと言われ、それを基に学習会も行った。今年、笹川区で見てくれという話がある。

(委 員) 各集落の古文書の目録を作る手助けをしてほしい。

(事務局) 地区ごと、どの家に古文書あるが調べて網羅できたらいいと思っています。

(委 員) 小菅の古文書も2年近くかかった。上越教育大の先生や学生、笹本先生など、年間5、6回やって目録をまとめた。古文書を読むボランティアグループを作ってほしい。

(教育長) 小菅は総合調査で予算がついたからできた。学芸員だけでは20年くらいかかってしまう。旧町村誌の後ろに江口先生のまとめた目録がある。それも一部分だが、それが実際あるかの確認作業も必要だ。長期計画で、古文書整備に区で予算付けてもらうとか、古文書研究会も若手を育成する必要がある。先ほど、会長のあいさつの中で、古民家、空き家の話があったが、市の空き家対策会議では、空き家をつぶして整理する話しかない。今後視点を変え、残して活用したい古民家も必要で、そうしないと、みんななくなってしまう。

(会 長) 昔の集落の風景がなくなっていく。文化財、観光の視点で残してほしい。

(教育長) 戸狩、温井など残していきたい。

(委 員) 文化的景観重要選定要素に選定されてしまえば、修理の方法も限定される。

(事務局) 文化的景観選定されると、目は届くが、いろいろな考えの方もいる。古い物を取り壊してしまえば再生できないし、検討していきたい。

(会 長) 「飯山の祭り展」の内容はどうなっていますか。

(事務局) 今年、小菅柱松の祭りがあるので、関連したものを。装束など、その方向から検討中です。

(会 長) 祭りは、集落ごと、伝統、獅子、天狗など違う。昭和の古い8ミリ撮ってあるのを見たらどうか。

(委 員) 8ミリフィルムあるが、機械がないので見る事が出来ない。

(事務局) i ネットでデジタル化できる。物があるうちにデータ化したい。

(会 長) 奈良沢の天狗、火祭りにi ネットの取材が入っていた。今、村の祭りの継続も難しくなっている。ふるさと館に直接関係がないが、よその人、観光に来た人も一緒になって祭りができる企画があっても良いと思う。また、祭りは同時期にやるので、他地区の祭りを見る機会がない。何年か一度、獅子

舞など3集落同時にやると面白いと思う。飯山国体の時、集落の獅子舞、天狗の舞を披露し、お互い交流でき楽しかった。装束も展示だけでなく、実際被ったりできれば、華やかさ、神々しさが直接伝わると思う。

(教育長) なちゅらができた時、獅子舞と一緒に披露するなどの話があった。

(事務局) 企画展示の見せ方の工夫をしていきたいと思います。

(委員) 古民家の話がありましたが、昔、秋津には立石分校や堀越、沓津という集落があった。だんだん昔の集落が忘れられてしまう。去年、廃村を観光に結び付けられるかわからないが、個人的に廃村めぐりをやった。昔、斑尾街道が栄えたので道がある。

(事務局) ふるさと館で、廃村にスポットを当てた企画展の開催は難しいと思うが、昔あった集落の書物を集めて展示するなど是可以するかもしれない。

③ ふるさと館閉館時間の変更について

(事務局) 現在、閉館時間が6時で、冬期間は日も短く5時閉館となっています。昨年5時から6時までの入館者の統計をとりました。4名の入館者でしたが、内訳は同じ人が違う日に4回来館されたということです。開館当初、学校帰り子どもたちが、ふるさと館に立ち寄って学習していけるようにという設定でしたが、現在、防犯上下校時は寄り道しないように学校でも指導されています。また、閉館時間が6時ですと、職員も遅番、早番というシフトを組んで対応していますが、事業等があるとなかなかうまく回っていかないのが現状です。美術館の閉館時間とあわせる方向でお願いしたい。皆さんの意見をお聞きしたい。よろしければ、教育委員会、法規審査委員会に図っていきたいと考えています。

(委員) 図書館の閉館時間は何時ですか。

(事務局) 図書館は6時です。美術館、高橋まゆみ人形館の閉館時間は5時です。両方とも4時30分までの入館となっています。3館共通券、4館共通券ともある程度入館料の実績があります。美術館、ふるさと館は入館料をいただいている施設なので、足並みをそろえた方がよいと考えています。もし、閉館時間間際で少し見学したいという方がいたら、職員が対応したいと思います。

(委員) 異議なし。

6 その他

(事務局) 特になし

7 閉会

(課長) それでは、これで第1回運営協議会を閉会します。本日はお忙しい中ありがとうございました。